

IX 周術期管理チーム



周術期医療の安全と質の向上を目指し、公益社団法人日本麻酔学会は平成19年より「周術期管理チーム」を提唱している。平成26年に日本麻酔学会より周術期管理チームの一員である看護師を対象に認定制度が開始され、「周術期管理チーム看護師」が誕生した。

28年度より周術期管理チームが発足し、29年度は麻酔科・ICU・歯科口腔外科の医師8名、手術看護認定看護師・周術期管理チーム看護師・感染管理認定看護師・禁煙外来看護師の8名、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士、診療支援課事務員の4名がチームとなって活動した。周術期における患者に対し、最適な状態で安心・安全な手術と効率的な周術期環境を提供することを活動目標としている。

29年度は、術後せん妄対策、鎮静スコア（RASSやCAM-ICUなど）の学習、呼吸器関連肺炎（VAP）予防対策の為に口腔ケアの実施と問題点、術中体位における問題点、皮膚障害や褥瘡予防などをテーマに話し合い、取り組みを行った。さらに、特殊体位（パークベンチ）で2例発生した舌潰瘍対策を検討するため、チームで介入し、対策を検討した。

また、前年度に引き続き、歯科口腔外科医と連携し呼吸器関連肺炎（VAP）予防のための口腔ケアに取り組んだ。実施に関する詳細は以下の通りである。

IX-1 29年度 脳神経外科緊急手術時・術前口腔ケア実施件数

区	分	件	数
脳神経外科全身麻酔緊急手術件数	113件（平日68件）		
口腔ケア実施件数	27件		
平日/土日・祝日	14件	13件	
麻酔時間 1～6時間/6時間以上	15件	12件	
入室前挿管/手術室にて挿管	5件	22件	
抜管して退室/挿管のまま退室	11件	16件	

※29年度より表記方法変更

以上により、平日の日勤帯の入室患者において口腔ケアが実施できていないという結果になった。口腔ケアの実施が呼吸器関連肺炎予防につながっているという、明確なデータが得られていない為、次年度も実施率を増やし活動を継続していく。